

# 関大前ラボトリ 「まち・かん114 (いいよ) ! (※)」

関大前商店街に誕生した、地域と大学の交流拠点「まち・かん114 (いいよ) !」。地域と関大の相互理解の強化に向けて、関大生の自由なアイデアを実現するコミュニティスペースを運営しています。



町に開いたオープンなスペースです

※まち・かん114 (いいよ) !・・・地域×関大生をテーマにした関西大学のコミュニティスペース。  
名称の由来は「まちなかコミュニティ関大前」の略称に拠点の住所の一部を組み合わせたもの

## 活動の概要

目的	地域住民の方々と関大生が相互の理解を深めること (地域住民の方々に関大生を知ってもらう / 関大生が地域を感じる)
連携メンバー	地域住民の方々 / まち・かん114スタッフ / 関西大学社会学部教授 与謝野有紀 / 関西大学政策創造学部教授 奥和義 / 関西大学環境都市工学部教授 岡絵理子
活動地域	まち・かん114を中心に関大前周辺エリア全域 (大阪府吹田市)
活動期間	2014年8月～ (継続中)

## 連携の経緯

近年、地域における住民の役割は、地域環境の整備やコミュニティ形成の主体者へ変遷を遂げており、大学もその一翼を担うことが求められている。一方で、大学がその責務を果たすにはいくつかの解決すべき課題を抱えており、地域との良好な信頼関係の構築はその最大のものである。そこで関西大学では、関大前商店街内に活動拠点を設置し、学生独自の視点による魅力ある関大前のまちづくりを展開するプロジェクトを開始した。

## 解決すべき課題

- (1) 大学周辺地域の魅力あるまちづくりへの参画
- (2) 地域と大学の信頼関係の構築



拠点の自主改修

地域の小学生との竹細工ワークショップ

## 大学の役割

本活動の始動にさきがけ、商学部、社会学部、政策創造学部、環境都市工学部から学生が選出され、拠点の開設準備を行うこととなった。また、教員からは、与謝野有紀 (社会学部)、奥和義 (政策創造学部)、岡絵理子 (環境都市工学部) が、アドバイザーとして参加している。拠点開設では学生が中心となり、「デザインをどうするか」「誰のために何を行うか」「学生が関わる意義は何か」など、活動の根幹に関わる部分について日々議論を深めていった。

1年間の準備期間を経て、施設のリノベーションをはじめ、活動の理念および拠点の運営方法を決定。活動内容については、地域の方に関大生を理解してもらうため、学内の各種団体による自由な利用を促進することとした。活動を通じて、拠点が解決すべき地域の課題を発見・解決していくことを目指しており、拠点の外観も活動内容に応じて柔軟にその装いを変化させていく予定である。

2015年6月の拠点オープン後は、関大生や地域住民の方々にさまざまな利用方法が示されている。例として、ゼミ室、学生の研究活動・部活動としての場、地域の方の作品の展示会・絵画教室などの利用がなされており、学生と地域の方をつなぐきっかけを生む場として拠点は機能しつつある。

また、隔週で大学、教員、地域の方、学生が集まり協議会を行っている。この協議会では拠点の運営についてや関大前における景観の問題や利用の仕方などについて協議されており、関大前通りがより良好に利用される場所となるように議論がなされている。

現在、拠点は大学の授業日に合わせてオープンしており、これまで以上に地域住民と関大生が集うコミュニティスペースを目指し、この拠点が関大前という町について考える中心地となるように活動を行っている。

## 成果

- (1) 地域と大学の交流拠点設置
- (2) 各種イベントの実施

## 今後の展望

- (1) 関大前商店街の方々ととのさらなる連携体制構築
- (2) 関大生の拠点に対する認知度向上
- (3) 多くの学生団体による拠点の利用
- (4) 拠点運営メンバーの募集

## 研究者および学生の紹介

まち・かん114 (いいよ) !

政策創造学部 教授  
奥 和義  
(おく かずよし)

社会学部 教授  
与謝野 有紀  
(よさの ありり)

環境都市工学部 教授  
岡 絵理子  
(おか えりこ)

関大前通りのまちづくりの拠点として、学生の活動や学校の情報を発信していき、地域との連携をとっていくコミュニティスペース。

専攻は国際経済学。主たる研究テーマは明治期から現在までの日本貿易の発達史で、日本貿易の史的発展を企業活動の国際的展開、消費者行動の変化、各国政府の貿易政策などの視点から多面的にとらえることに学問的興味を持つ。

地域活性化に対する社会的信頼の機能を実践的に明らかにする研究を行う。膨大な数のプロジェクトを統括し、安全安心や過疎化が進む地方のあり方など、社会的課題の解決に全精力をもって取り組む。

都市計画と住宅を専門とする。実際のまちの動きを、まちの人々とのかわりを通して学生たちに伝えたい、体感してほしいと考え、教育・研究を行う。



いろんな世代に開いたスペースです

